

平成28年度

大阪市こころの健康センター 所報

大阪市こころの健康センター

はじめに

平成 28 年度の大阪市こころの健康センター所報の刊行に際しまして、ご挨拶申し上げます。

大変残念ながら、平成 28 年度は熊本地震とともに始まることになりました。当センターからは、相談員 4 名が現地に派遣され、現地の被災者と自治体の方々に対する支援をさせていただきました。また、全国の精神医療にかかわる医療機関と精神保健福祉センターなどから構成される災害派遣精神医療チーム（DPAT）からも支援チームが多数現地入りし、被災した病院の支援や避難所での診療などを行いました。当時当センターは DPAT として活動する準備はできておりませんでした。その後大阪府・堺市とともに協議を行った結果、年度末の 3 月に三自治体間で協定を結び、今後は当センターも all Osaka の DPAT の一員として被災地支援や研修会に参加できることになりました。このことは DPAT の運営についてのノウハウを学ぶ機会になり、将来万が一本市が被災した場合でも、DPAT の受け入れをスムーズに行える基盤となりえます。

平成 28 年度の当センターの事業内容には大きな変化はありませんでしたが、今後の精神保健行政に大きく影響する報道として、7 月には相模原障がい者施設殺傷事件、10 月には精神保健指定医資格の不正取得に関係した厚生労働省による資格取り消し処分の発表、12 月には IR 推進法の施行などが続きました。

今後とも、ご支援、ご指導の程お願い申し上げます。

平成 29 年 12 月

大阪市こころの健康センター
所長 田中政宏

目 次

第 1 概 要

1 施設の概要 -----	2
(1) 開設 -----	2
(2) 所在地 -----	2
(3) 延べ床面積 -----	2
(4) 平面図 -----	3
2 組織・職員 -----	3
(1) 組織 -----	3
(2) 職員 -----	3
3 予算・決算 -----	4
(1) 歳入 -----	4
(2) 歳出 -----	5

第 2 事業実績

1 精神保健福祉センター業務 -----	7
(1) 技術指導及び技術援助 -----	7
(2) 教育研修 -----	7
ア 精神保健福祉関係職員研修 -----	7
(ア) 新任研修 -----	7
(イ) 新任精神保健福祉関係職員フォロー研修 -----	8
(ウ) 現任研修（全体研修） -----	9
(エ) 現任研修（業務の課題を解決するための研修） -----	9
(オ) 現任研修（事例検討を中心とした研修） -----	10
(カ) 新任期保健師精神保健福祉研修 -----	12
(キ) 思春期関連問題支援者向け研修 -----	12
(ク) 薬物関連問題従事者研修 -----	13
(ケ) ゲートキーパー専門研修 -----	13
(コ) ゲートキーパー専門研修（危機介入編） -----	13
(サ) 自殺未遂者相談支援事業従事者研修 -----	14

(シ) ひきこもり相談窓口事業研修会-----	14
イ 精神保健福祉関係 人材養成研修 -----	15
(ア) 現任研修 全体研修 と合同で実施-----	15
(イ) アルコール関連問題に係る支援者育成事業-----	15
ウ 大阪府 精神保健福祉業務従事者研修 -----	16
(3) 普及啓発 -----	16
ア こころの健康講座 -----	16
イ こころのボランティア講座 -----	17
ウ ひきこもり市民講座 -----	17
エ 思春期関連問題市民講座 -----	17
オ 薬物乱用防止対策事業 -----	18
(4) 調査研究 -----	18
(5) 技術支援 -----	19
ア 関係機関への一般相談 -----	19
イ でかけるチーム精神保健相談 -----	20
ウ 個別支援 -----	21
(6) 精神保健福祉相談 -----	22
ア 思春期関連問題相談 -----	22
イ 薬物関連問題相談 -----	23
ウ こころの悩み電話相談 -----	24
(7) 自殺防止対策事業 -----	25
ア 自死遺族相談 -----	25
イ 自殺未遂者相談支援事業 -----	25
ウ ゲートキーパーの養成 -----	26
エ 自殺予防週間の取り組み -----	26
オ 自殺対策強化月間の取り組み -----	26
カ うつ病予防の普及啓発 -----	27
キ うつ病の家族教室 -----	27
ク 大阪市自殺対策検討連絡会議 -----	27
(8) ひきこもり相談窓口事業 -----	28
ア ひきこもり電話相談件数 -----	28
イ ひきこもり面接相談件数 -----	29

ウ	ひきこもりアウトリーチ件数	29
(9)	薬物依存症者等ケア強化事業	30
ア	家族心理教育事業	30
イ	地域における断薬継続促進モデル事業	30
(10)	組織の育成	31
(11)	精神医療審査会	31
ア	開催状況	31
イ	入院届・定期病状報告の審査状況	31
ウ	退院・処遇改善請求の審査状況	32
エ	実施審査状況	32
(12)	大阪市自立支援医療費（精神通院）支給認定・手帳交付審査委員会の運営	32
2	精神保健福祉主管課業務	33
(1)	精神保健福祉審議会の運営	33
ア	自殺防止対策部会	33
(2)	措置・緊急措置診察（入院）業務	34
ア	措置診察	34
イ	緊急措置診察	34
(3)	医療保護入院等の移送事業	34
(4)	精神障がい者保健福祉手帳の交付	35
(5)	市営交通料金福祉措置	35
(6)	自立支援医療費（精神通院）の支給認定	35
(7)	精神障がい者地域生活支援広域調整等事業	35
ア	地域移行支援の実施状況	35
イ	ピアサポーターによる啓発活動	36
ウ	ピアサポーター交流会	37
エ	ピアサポーター養成講座	38
オ	技術支援・コーディネート	38
カ	技術支援・コーディネート	39
キ	ワーキンググループ会議	39
ク	大阪市精神障がい者地域生活移行支援事業検討会	40
(8)	心神喪失者医療観察法に基づく社会復帰支援事業	40
(9)	精神科救急医療体制整備事業	40
ア	おおさか精神科救急ダイヤルの設置	40

イ	精神科救急医療情報センターの設置	41
ウ	一次救急医療体制の整備	41
エ	二次救急医療体制の整備	42
オ	身体合併症治療体制の確保	42
カ	夜間・休日精神科合併症支援システム	43
(10)	精神保健福祉に関する予算・決算業務	45

第3 資料

1	大阪市精神保健福祉審議会 開催内容	47
2	精神医療審査会	52
(1)	運営状況	52
(2)	実地審査状況	53
3	措置（緊急措置）診察・入院状況	54
4	精神障がい者保健福祉手帳交付状況	55
5	精神障がい者保健福祉手帳所持者数	56
6	自立支援医療費（精神通院）受給者数状況	56
7	自立支援医療費（精神通院）受給者数	56
8	保健福祉センターにおける相談指導の状況	57
9	保健福祉センターにおける一般クリニックの状況	58
10	保健福祉センターにおけるグループワーク・酒害教室の状況	59

第 1 概 要

1 施設の概要

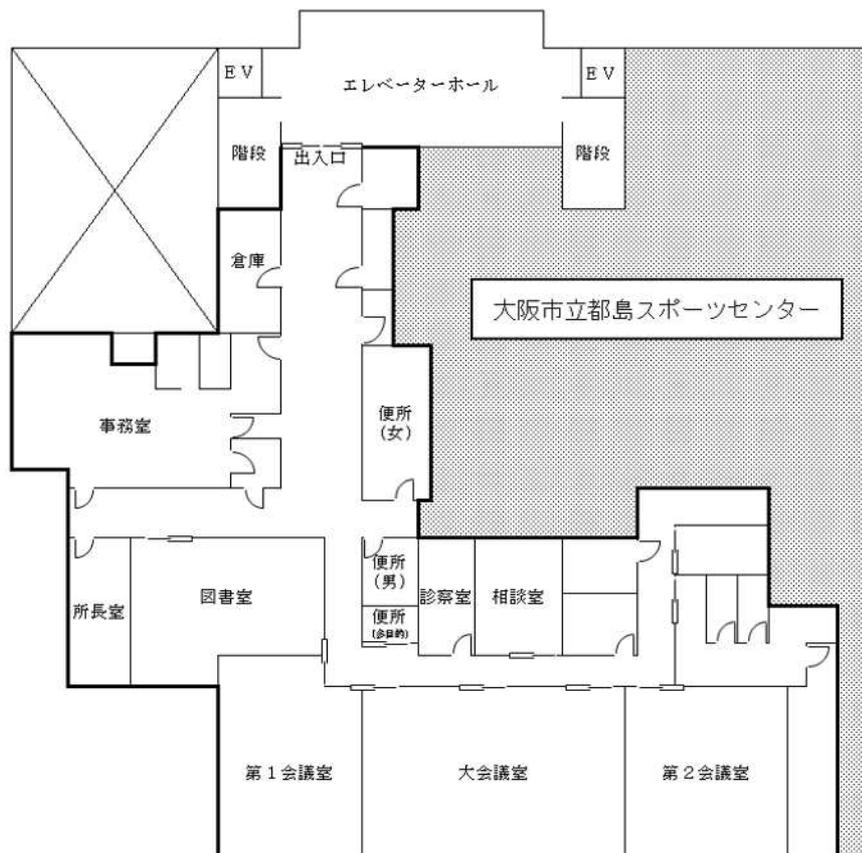
(1) 開設 平成12年4月1日

(2) 所在地 大阪市都島区中野町5丁目15番21号 都島センタービル3F



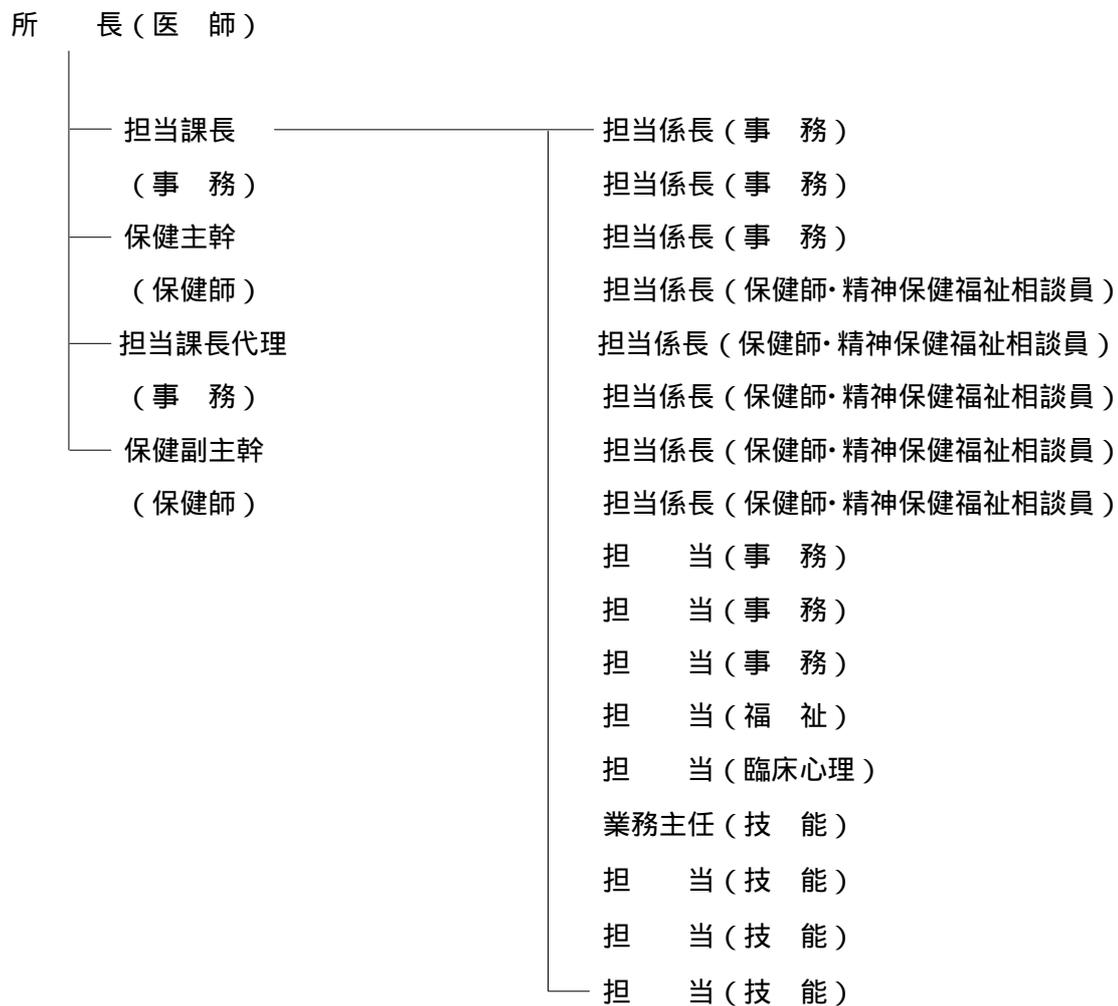
(3) 延べ床面積 992.75㎡

(4) 平面図



2 組織・職員（平成28年5月1日現在）

（1）組織



（2）職員

	事務	福祉	臨床 心理	医師	保健師	技能	計	精神保健福祉相談員 （再掲）
								保健師
人数	8	1	1	1	7	4	22	5

医師2名欠員

3 予算・決算

(1) 歳入

(単位：千円)

事 項	平成29年度 予算	平成28年度 決算
使用料	672	629
でかけるチーム精神保健相談事業	32	0
精神科救急医療体制の整備事業	640	629
手数料	15	3
こころの健康センター管理運営費（診断書料）	15	3
国庫負担金	5,509,024	5,412,792
精神障がい者通院医療費	5,383,704	5,275,996
措置・緊急措置診察及び入院事業	3,641	3,498
措置入院費公費負担事業	121,679	133,298
国庫補助金	61,342	55,932
マイナンバー制度にかかる総合福祉システムの改修経費	474	6,663
こころの健康センター管理運営費	773	646
精神保健福祉普及啓発事業	25	10
思春期関連問題相談事業	202	199
薬物乱用防止対策事業	162	167
でかけるチーム精神保健相談事業	8	201
ひきこもり相談窓口事業	1,435	1,001
自殺防止対策事業	297	396
精神科救急医療体制の整備事業	40,581	34,993
措置・緊急措置診察及び入院事業	17,035	11,372
精神障がい者地域生活支援広域調整等事業	350	284
府補助金	2,013	1,866
自殺防止対策事業	2,013	1,866
財産売却代		231,110
恵美須倉庫売却経費		231,110
雑入	13	1,316
市営交通料金福祉措置（広告料収入）	13	13
障がい者支援計画及び障がい福祉計画の策定（広告料収入）	-	0
精神障がい者通院医療費（医療費返還金等）	-	1171
紙類等売払	-	132
計	5,573,079	5,703,648

事 項	平成29年度 予算	平成28年度 決算
健康総務費	38,266	43,318
総合福祉システム（福祉五法システム）運用経費	25,851	25,851
総合福祉システム（福祉五法システム）改修等経費	7,052	0
マイナンバー制度にかかる総合福祉システム改修経費	5,353	17,458
マイナンバー制度にかかる中間サーバー接続端末設置経費	10	9
保健医療費	12,023,081	11,260,939
精神障がい者通院医療費	10,865,310	10,206,179
こころの健康センター管理運営費	20,616	16,231
精神保健福祉従事職員研修	1,052	942
精神保健福祉審議会費	208	170
精神保健福祉普及啓発事業	741	593
思春期関連問題相談事業	607	644
薬物乱用防止対策事業	769	644
でかけるチーム精神保健相談事業	24	500
ひきこもり相談窓口事業	2,870	2,003
精神保健福祉・社会復帰相談指導事業	24,284	23,074
自殺防止対策事業	4,597	3,963
薬物依存症者等ケア強化事業	3,445	3,158
市長入院同意患者面接事業	345	249
精神科救急医療体制の整備事業	105,954	103,682
措置・緊急措置診察及び入院事業	66,590	55,506
措置入院費公費負担事業	162,289	149,379
精神医療適正化事業	5,237	4,744
心神喪失者等医療観察法に基づく社会復帰支援事業	120	78
精神障がい者保健福祉手帳交付事業	2,174	1,856
市営交通料金福祉措置	754,858	671,828
精神障がい者地域生活支援広域調整等事業	701	569
障がい者支援計画及び障がい福祉計画の策定	212	1,126
マイナンバー制度にかかる中間サーバー接続端末設置経費	78	65
恵美須倉庫売却経費		13,756
計	12,061,347	11,304,257

第2 事業実績

大阪市こころの健康センターでは、精神保健福祉センターの機能に加えて、精神保健および精神障がい者福祉に対する行政機能を総合的、一体的に有している。すなわち精神保健福祉法第6条及び精神保健福祉センター運営要領で定める業務の他に、措置入院の診察・移送などの業務や、精神保健福祉審議会の運営などいわゆる精神保健福祉主管課業務についても実施している。

1 精神保健福祉センター業務

(1) 技術指導及び技術援助

大阪市内には、各区に1か所、合計24か所の保健福祉センターがあり、これらは市民や精神障がい者のさまざまな相談に対応するなど地域精神保健福祉行政の第一線機関である。また精神障がい者の地域生活を支援している各機関も精神保健福祉サービスと関わる重要な機関である。当センターは、これら保健福祉センターや関係機関に対し、専門的立場からさまざまな形で積極的な技術支援および技術援助を行っている。

(2) 教育研修

ア 精神保健福祉関係職員研修

各区の保健福祉センター及び大阪市こころの健康センターの精神保健福祉相談員や事務担当職員を対象に精神障がい者の理解を深め、最新の専門的な情報や技術を習得することを目的とした研修を実施し、職員の資質の向上を図るとともに地域精神保健福祉の活動及び向上に繋げる。

(ア) 新任研修

年 月 日	講 義 内 容	講 師	参加者数
28.4.21	月報について	こころの健康センター 担当係長 伯 井 理 加	18人
	精神保健福祉法と大阪市の精神保健福祉行政について	こころの健康センター 精神保健医療担当課長 小 寺 誓	
	保護申請(22条) 警察官通報(23条) 移送制度(34条) 市長同意事務手続き 救急医療システム	こころの健康センター 担当係長 伯 井 理 加 三 田 敦 弘	
28.4.22	心神喪失者医療観察法について 精神障がい者地域移行支援について	こころの健康センター 保健副主幹 松 本 直 美	3人
	問題解決技法	こころの健康センター 担当係長 坂 本 裕 子 こころの健康センター 臨床心理職員 土 屋 孔 明	
	統合失調症・うつ病を中心に障がいと疾患について 通報における自傷他害性について 自立支援医療・精神障がい者福祉手帳について	こころの健康センター 所長 田 中 政 宏 こころの健康センター 担当係長 青 柳 治	15人

28.4.22	こころの健康センターにおける精神保健福祉業務の実際について	こころの健康センター 担当係長 井 阪 純 子	
	思春期相談 ひきこもり相談 自死遺族相談	こころの健康センター 臨床心理職員 土 屋 孔 明	
28.5.6	精神医療適正化事業	こころの健康センター 担当係長 大 畑 有 紀	11名
	精神保健福祉相談・社会復帰相談指導事業等の事務手続きについて	こころの健康センター 竹 内 徹	
	保健福祉センターにおける業務	こころの健康センター 担当係長 植 田 高 子	
	自殺対策について	こころの健康センター 精神保健医療担当課長代理 西 岡 隆	
	地域精神保健福祉活動について 危機介入について	こころの健康センター 保健主幹 熊 谷 由 喜 子	3名
	自殺未遂者相談支援事業	こころの健康センター 担当係長 井 阪 純 子	
	薬物相談、地域における断薬継続促進モデル事業	こころの健康センター 担当係長 植 田 高 子	
新任研修を終えて			

(イ) 新任精神保健福祉関係職員フォロー研修

年 月 日	講 義 内 容	講 師	参加者数
29.1.16	ケアマネジメント実践におけるアセスメントの意義と方法	こころの健康センター 担当係長 伯 井 理 加	2人
	アルコール関連問題のアセスメントと介入の方法について	こころの健康センター 保健主幹 熊 谷 由 喜 子	
	事例検討	こころの健康センター 保健主幹 熊 谷 由 喜 子	
	各区精神保健福祉関連業務の現状と課題及び今後の方策	こころの健康センター 担当係長 伯 井 理 加	

(ウ) 現任研修 (全体研修)

精神保健福祉の最近の動向について講義研修を実施した(精神保健福祉関係人材養成研修と合同で実施)。

年月日	講義内容	講師	参加者数
28.9.7	高齢者のアルコール問題について ～アルコール関連問題認知症の理解と援助～	新生会病院 院長 和 気 浩 三	55人
28.10.31	アディクションの理解と対応	新阿武山クリニック 精神保健福祉士 西 川 京 子	60人
28.11.7	摂食障害の理解と対応	なにわ生野病院 臨床心理士 武 久 千 夏	39人
28.12.5	生活技能訓練(SST)の理論と実践	Office 夢風舎 精神保健福祉士 土 屋 徹	51人
29.1.31	災害時のこころのケア	兵庫県こころのケアセンター 研究主任 大 澤 智 子	57人

(エ) 現任研修 (業務の課題を解決するための研修)〔対象 精神保健福祉相談員〕

A 北・西グループ

年月日	講義内容	講師
28.7.27	認知機能リハビリテーションについて	大阪府立精神医療センター 部長 岩 田 和 彦
28.8.24	認知機能リハビリテーションの実際と支援方法	大阪府立精神医療センター 作業療法士 西 広 行
28.12.12	運営方法の検討	
29.2.13	運営方法の検討・まとめ	

B 中央・東グループ

年月日	講義内容	講師
28.7.11	就労支援について情報整理	
28.11.14	精神障がい者への就労支援の実際	大阪労働局障がい者雇用対策係 渡邊和江
28.12.12	支援の実際の見学と説明	大阪障害者職業センター 名倉彰子
29.2.13	就労支援についてまとめ	

C 南グループ

年月日	講義内容	講師
28.7.7	動機づけ面接の実際について	大阪市立大学大学院発達小児医学教室 講師 川村智行
28.8.30	インテーク面接とアセスメントの視点について	大阪市立大学大学院生活科学研究科総合福祉・心理臨床科学講座 教授 大西次郎
28.10.12	面接の実際	
28.12.14	研修のまとめ	

(オ) 現任研修(事例検討を中心とした研修)[対象 精神保健福祉相談員、保健師]

A 北・西グループ

年月日	講義内容	講師
28.9.28	統合失調症について事例を通して学ぶ	ほくとクリニック病院 院長 深尾晃三
28.10.18	高齢者の精神疾患について事例を通して学ぶ	咲く花診療所 院長 田中一
28.11.14	アルコール依存症について事例を通して学ぶ	藤井クリニック 精神保健福祉士 藤井望夢
29.1.5	気分障がいについて事例を通して学ぶ	にじクリニック 副院長 西浦竹彦
29.3.13	処遇困難事例への対応について	

B 東・中央グループ

年月日	講義内容	講師
28.8.22	精神障がい者の家族支援について	京都ノートルダム女子大学 准教授 佐藤 純
28.9.12	思春期の精神保健の理解と対応	やまもとクリニック 医師 山下 仰
28.10.3	嗜癖のあるケース対応と支援のあり方	藤井クリニック 精神保健福祉士 藤井 望夢
29.1.19	アルコール依存症の個別支援と連携のあり方について	新生会病院 精神保健福祉士 小仲 宏典
29.3.13	処遇困難事例への対応について	

C 南グループ

年月日	講義内容	講師
28.9.16	双極性障害の理解と支援について	たにメンタルクリニック 院長 谷 宗英
28.11.24	精神疾患の薬物治療について理解を深める	かつもとメンタルクリニック 院長 勝元 榮一
29.1.11	摂食障害～治療の実際と介入のポイント～	兵庫医科大学精神科神経科 講師 山田 恒
29.2.13	ギャンブル依存の治療、支援プログラムの実際について	藤井クリニック 精神保健福祉士 藤井 望夢
29.3.8	今年度中に検討した事例について、その後の経過報告及び振り返り	

(カ) 新任期保健師精神保健福祉研修

保健福祉センターの新任期の保健師を対象に、実践経験を基にさらに精神障がい者の理解を深め、より専門的・具体的な生活支援や個別援助に必要な知識や技術を学ぶことを目的とした研修を実施した。

年月日	講義内容	講師	参加者数
29.1.23	オリエンテーション		14人
	講義「統合失調症・感情障がいの疾患理解と支援について」	こころの健康センター 所長 田中政宏	
	精神障がい者の理解と支援～当事者の話から社会復帰への支援を学ぶ～	こころの健康センター 保健副主幹 松本直美 ピアサポーター	
	講義「アセスメントの意義と方法・社会資源の利用、地域生活支援について」	こころの健康センター 担当係長 坂本裕子	
	事例検討（グループワーク） 発表・まとめ	こころの健康センター 保健主幹 熊谷由喜子 こころの健康センター 担当係長 植田高子 こころの健康センター 担当係長 坂本裕子	

(キ) 思春期関連問題支援者向け研修

保健福祉センターの精神保健福祉相談員・保健師、市立学校教職員を対象に、従事する職員の資質および技術の向上を目的に研修を実施した。

年月日	講義内容	講師	参加者数
29.3.1	性別違和(性同一性障がい)の理解と対応について	関西医科大学総合医療センター精神神経科学講座 助教 織田裕之	57人

(ク) 薬物関連問題従事者研修(「薬物乱用防止に関わる教職員研修」)

全市校園の養護教諭・保健主事を対象に、従事する職員の資質および技術の向上を目的に研修を実施した。

年月日	講義内容	講師	参加者数
28.12.9	薬物乱用と依存 薬物関連問題相談事業について	こころの健康センター 所長 田中政宏 こころの健康センター 担当係長 植田高子	284人

(ケ) ゲートキーパー専門研修

自殺防止のために一番大切な気づきが行える地域の中心的な役割を果たすべき人材(ゲートキーパー)の育成として、精神保健福祉相談員・保健師、査察指導員・生活保護ケースワーカーを対象に専門研修を実施した。

年月日	講義内容	講師	参加者数
28.11.25	精神科病棟における自殺者未遂支援 自殺対策と自殺未遂者の支援について	大阪府立急性期・総合医療センター 精神保健福祉士 谷口尚子 こころの健康センター 担当係長 井阪純子	40人

(コ) ゲートキーパー専門研修(危機介入編)

自殺防止のために一番大切な気づきが行える地域の中心的な役割を果たすべき人材(ゲートキーパー)の育成として、精神保健福祉相談員・保健師、査察指導員・生活保護ケースワーカー、地域包括支援センター職員を対象に危機介入の研修を実施した。

年月日	講義内容	講師	参加者数
28.10.5	自殺危機初期介入スキル研修 自殺危機初期介入スキル研究会	こころの健康センター 担当係長 植田高子 こころの健康センター 担当係長 大畑有紀	22人
28.10.24	自殺危機初期介入スキル研修 自殺危機初期介入スキル研究会	こころの健康センター 保健主幹 熊谷由喜子 こころの健康センター 臨床心理職員 井阪純子	23人

(サ) 自殺未遂者相談支援事業従事者研修

保健福祉センターの精神保健福祉相談員・保健師を対象に、従事する職員の資質および技術の向上を目的に研修を実施した。

年 月 日	講 義 内 容	講 師	参加者数
29.2.8	事例検討 自殺未遂者相談支援事業について 効果的な自殺未遂者対策とは 平成28年度上半期の事業報告	こころの健康センター 担当係長 植 田 高 子 こころの健康センター 担当係長 伯 井 里 加	17人

(シ) ひきこもり相談窓口事業研修会

保健福祉センターの精神保健福祉相談員・保健師を対象に、従事する職員の資質および技術の向上を目的に研修を実施した。

年 月 日	講 義 内 容	講 師	参加者数
28.8.24	ひきこもりの理解と支援 ひきこもり相談窓口事業について 他	大久保クリニック 院長 大 久 保 圭 策 こころの健康センター 臨床心理職員 土 屋 孔 明	22 人
28.9.8	ひきこもりのアウトリーチ	紀の川病院 副院長 兼 ひきこもりセンター長 宮 西 照 夫	32 人

イ 精神保健福祉関係 人材養成研修

(ア) 現任研修 全体研修 と合同で実施

訪問看護・居宅支援事業者、精神保健福祉施設等で精神保健福祉業務に従事する職員の資質および技術の向上を目的に専門的な研修を実施した。

年 月 日	講 義 内 容	講 師	参加者数
28.12.5	生活技能訓練(SST)の理論と実践	Office 夢風舎 精神保健福祉士 土 屋 徹	22人
29.1.31	災害時のこころのケア	兵庫県こころのケアセンター 研究主任 大 澤 智 子	14人

(イ) アルコール関連問題に係る支援者育成事業

アルコール依存症は自殺のハイリスク群とされており、自殺防止の支援のために、医療機関・地域包括支援センター・訪問看護ステーション・断酒会・AA・アルコール関連作業所等でアルコール関連問題にかかる支援者、当事者・家族を対象に、研修を実施した。

年 月 日	講 義 内 容	講 師	参加者数
28.9.23	アルコール依存症の基本と対応 意見交換会 「支援方法のヒントを見つけよう！」	新生活会院 精神保健福祉士 小 仲 宏 典	36人
28.10.28	女性のアルコール依存症について 事例検討・意見交換会 「独居女性、治療中断ケースへの支援について」	阪和いずみ病院 院長 大 西 英 周	45人
28.12.16	体験談及び自助グループ活動紹介 事例検討・意見交換会 「男性高齢、家族が疲弊しているケースへの支援について」	大阪市断酒連合会 家族会(すみれ会) 津 川 邦 子	33人
29.1.27	高齢者のアルコール依存症について 事例検討・意見交換会 「治療中断、高齢者ケースへの支援について」	新生活会院 院長 和 気 浩 三	33人

ウ 大阪府 精神保健福祉業務従事者研修

大阪府の実施する研修の企画と運営に協力し、研修の参加について、大阪市精神保健福祉関係職員への周知を行った。

年 月 日	講 義 内 容	講 師	参加者数
29. 2.22	自死遺族相談従事者養成研修 「死別による悲嘆の理解と遺族への対応」	神戸松蔭女子学院大学 教授 大和田 攝子	32人 (うち大阪市からの参加者は9人)

(3) 普及啓発

市民に対する精神保健福祉に関する知識や精神障がいについての正しい知識などの普及啓発を行った。

ア こころの健康講座

市民のこころの健康づくりを推進するために、こころの健康をテーマに講演会を実施した。

年 月 日	講 座 内 容	講 師	参加者数
28.7.6	うつに寄り添う ～かかわりのヒント～	石田クリニック 院長 石 田 徹	37人
28.9.29	統合失調症について知ろう ～医師の話と当事者の体験談～	ピアサポーター 2名(匿名) こころの相談ネット ふうが 施設長 高 橋 爾 大阪市こころの健康センター 所長 田 中 政 宏	45人
28.10.14	よくわかるパーソナリティ障がい	京都大学大学院医学研究科 講師 野 間 俊 一	57人
28.12.13	よくわかる双極性障がい(躁うつ病)	かつもとメンタルクリニック 院長 勝 元 榮 一	33人
29.1.25	よくわかるトラウマ・PTSD	兵庫教育大学大学院学校教育研究科 教授 加 藤 寛	45人

イ こころのボランティア講座

精神障がい者の地域生活を支援する精神保健福祉ボランティアをはじめ、精神保健分野で活動する支援者を対象に、育成支援・精神保健福祉についての普及啓発を目的に講座を開催した。なお、今年度についても「こころの健康講座」と共催した。

ウ ひきこもり市民講座

市民や学校関係者等のひきこもりへの理解を深めることを目的として、2回の市民講座を開催した。

年 月 日	講 座 内 容	講 師	参加者数
28.11.17	ひきこもりの現状とこれから必要な支援 について ～ひきこもり外来での取り組みから～	三家クリニック 院長 三 家 英 明	49人
28.12.7	ひきこもりのライフプラン ～現状把握とこれからやるべきこと～	FPオフィスライフカラース 代表 藪 内 美 樹	46人

エ 思春期関連問題市民講座

思春期の子どもを持つ親、市民、教職員などを対象に、思春期のこころの健康についての普及啓発を目的に講座を開催した。

年 月 日	講座内容	講 師	参加者数
29.2.1	摂食障がいについて知ろう	京都大学大学院医学研究科 脳病態生理学講座 講師 野 間 俊 一	49人
29.3.7	急増する子どもたちのネット依存	大阪市立大学大学院医学研究科 神経精神医学 講師 片 上 素 久	46人

オ 薬物乱用防止対策事業

覚せい剤、シンナー、危険ドラッグなどの薬物乱用防止にかかる普及啓発を目的に、高等学校の薬物乱用防止講座に講師を派遣した。

年月日	開催校	対象者	参加者数
28.11.30	開明高等学校	生徒・教員	332人

各区で実施される「成人の日記念のつどい」に参加する新成人に対して薬物乱用防止啓発用リーフレットを配布した。

年月日	リーフレット名	対象者	配付数
29.1.9	YES TO LIFE, NO TO DRUGS	新成人	18,200部

(4) 調査研究

地域精神保健福祉活動の推進並びに精神障がい者の社会復帰の促進及び自立と社会経済活動への参加の促進等についての調査研究をするとともに、必要な統計及び資料を収集整備した。

(5) 技術支援

ア 関係機関への一般相談

各区の保健福祉センターや関係機関における対応困難事例について、精神科医師や精神保健福祉相談員・臨床心理職員などが相談、支援を行っている。

平成28年度関係機関への一般相談状況

技術支援

1. 相談件数	(件)
4月	123
5月	131
6月	128
7月	135
8月	143
9月	136
10月	142
11月	130
12月	117
1月	120
2月	120
3月	144
合計	1569

2. 新規・再相談の別	(件)
新規相談	1495
今年度新規相談	13
今年度再相談	61
合計	1569

3. 対象者の性別	(人)
男性	996
女性	569
不明	4
合計	1569

4. 年齢別	(人)
10歳未満	1
10歳～12歳	1
13歳～15歳	9
16歳～18歳	28
19歳～20歳	14
21歳～29歳	194
30歳～39歳	320
40歳～49歳	422
50歳～59歳	260
60歳～69歳	182
70歳～79歳	58
80歳以上	32
不明	48
合計	1569

5. 相談手段	(件)
電話相談	1559
こころに来所相談	10
保健福祉センター面接	0
訪問相談	0
合計	1569

6. 相談業務従事者	(人)
医師	0
PSW	1552
心理職員	15
事務職員	0
その他	0
医師・心理職	0
医師・心理職・PSW	0
医師・PSW	0
心理職・PSW	0
合計	1567

7. 相談内容	(件)
治療に関して	30
医療機関紹介	12
情報に関して	20
でかける相談	0
医療・手帳関係	5
通報関係	1381
制度の問題	7
近隣トラブル	9
本人への対応	80
その他	25
合計	1569

8. 相談経路	(件)
保健福祉センター	193
支援課(生保)	2
医療機関	7
社会復帰施設	0
教育機関	0
社会福祉施設	0
老人保健施設	0
児童福祉施設	0
関係団体	2
その他	1365
合計	1569

9. 相談種別	(件)
老人保健	0
社会復帰	4
アルコール	6
病気に関する問題	1353
心の健康づくり	13
薬物関連問題	109
思春期問題	5
うつ・うつ状態	7
DVに関して	0
ギャンブル	0
ひきこもり	5
自殺関連	7
犯罪被害	1
災害	0
発達障がい	5
摂食障害	1
その他	53
合計	1569

10. 援助の方法	(件)
所内カンファレンス	12
地域・外部とカンファレンス	0
地域支援会議等参加	0
相談員等に個別支援	50
GW・教室等支援	0
関係機関紹介	5
情報提供	25
助言	105
その他	1372
合計	1569

イ でかけるチーム精神保健相談

地域における精神保健福祉相談での複雑困難事例に対応するため、各区の保健福祉センターからの要請に基づき、こころの健康センターの専門職員によるチームを編成し、各区にでかけて事例検討、訪問及び面接等の専門的な技術援助・支援を行い、もって地域の精神保健福祉活動の向上を図っている。

平成28年度でかけるチーム精神保健相談

	電話相談	面接相談	家庭訪問	ケース会議	合計
男性	0	1	1	2	4
女性	4	1	1	15	21
合計	4	2	2	17	25

市民の個別相談については、原則、各区保健福祉センターで対応しているが、直接、個別にこの健康センターに相談があった事例については、以下のように対応し、必要に応じて各区の保健福祉センターに引き継ぎ継続支援を行っている。

平成28年度個別支援状況

1. 相談件数 (件)		5. 相談手段 (件)		9. 相談種別 (件)	
4月	100	電話相談	837	老人保健	0
5月	95	こころに来所相談	25	社会復帰	15
6月	85	訪問相談	37	アルコール	11
7月	76	合計	899	病気に関する問題	485
8月	91			心の健康づくり	50
9月	84	6. 相談業務従事者 (人)		薬物関連問題	75
10月	72	医師	0	思春期問題	10
11月	66	相談員	844	うつ・うつ状態	24
12月	57	心理職員	55	DVに関して	0
1月	67	事務職員	0	ギャンブル	5
2月	49	医師・相談員	0	その他	224
3月	57	医師・心理	0	合計	899
合計	899	医師・心理・相談員	0		
		その他	0	10. 援助の方法 (件)	
2. 新規・再相談の別 (件)		合計	899	助言	200
新規相談	687	7. 相談内容 (件)		関係機関紹介	68
今年度新規相談	5	治療に関して	19	保健福祉センターのフォロー	5
今年度再相談	207	医療機関紹介	49	その他	626
合計	899	情報に関して	41	合計	899
3. 対象者の性別 (人)		制度の問題	10	11. 相談区 (件)	
男性	510	本人への対応	142	北	39
女性	381	その他	638	都島	23
不明	8	合計	899	福島	5
合計	899	8. 相談経路 (件)		此花	4
4. 年齢別 (人)		保健福祉センター	11	中央	12
10歳未満	0	支援課(生保)	3	西	9
10歳～12歳	0	医療機関	8	港	14
13歳～15歳	3	社会復帰施設	3	大正	23
16歳～18歳	18	教育機関	2	天王寺	14
19歳～20歳	3	社会福祉施設	0	浪速	26
21歳～29歳	104	老人保健施設	0	西淀川	14
30歳～39歳	222	児童福祉施設	0	淀川	25
40歳～49歳	232	関係団体	9	東淀川	36
50歳～59歳	106	その他	863	東成	9
60歳～69歳	85	合計	913	生野	17
70歳～79歳	21			旭	47
80歳以上	9			城東	6
不明	96			鶴見	8
合計	899			阿倍野	12
				住之江	24
				住吉	20
				東住吉	25
				平野	33
				西成	67
				不明	288
				市外	82
				市内だが不明	17
				合計	899

(6) 精神保健福祉相談

ア 思春期関連問題相談

思春期は心身の変化が著しく、対人関係の悩みやストレスによる身体の症状などの問題が生じやすく、様々な不安や葛藤等に端を発して、精神障がい（統合失調症・うつ病・摂食障がい・社交不安障がい・強迫性障がい等）を引き起こしやすいことが知られている。思春期関連問題としては、不登校、家庭内暴力、非行、摂食障がい、自傷行為、性に関する問題等があり、いずれの問題も非常に複雑であることから一筋縄の対応ではうまくいかないことが多い。また、これらの問題に加えて、近年ではインターネット依存やいじめによる自殺等も大きな問題となってきた。これらに対応するため、平成12年10月から、専門の精神科医師、臨床心理職員等による個別相談を予約制で、大阪市こころの健康センターにおいて実施している。

平成28年度 思春期関連問題相談実施状況

相談件数 (件)

	合計
実件数	59
延件数	66

対象者の内訳 (実件数)

(人)

年齢	～12	13～15	16～18	19～20	21～	合計
男性	4	9	15	0	0	28
女性	7	6	17	0	1	31
合計	11	15	32	0	1	59

相談内容 (実件数)

(人)

年齢	～12	13～15	16～18	19～20	21～	合計
不登校	3	3	11	0	0	17
ひきこもり	0	2	2	0	0	4
摂食障がい	0	0	0	0	0	0
精神疾患疑い	3	0	2	0	0	5
情緒不安定	0	0	0	0	0	0
発達障がい	0	5	8	0	0	13
その他	5	5	9	0	1	20
合計	11	15	32	0	1	59

その他、思春期関連問題について、各区保健福祉センターへの技術援助を行っている。

イ 薬物関連問題相談

覚せい剤等薬物の乱用、とりわけ低年齢層の薬物乱用や、危険ドラッグの乱用者が犯罪や重大な交通死亡事故を引き起こす事案が後を絶たず、社会問題となっている。一方、薬物関連問題についての専門相談機関は極めて少ない状況にある。

このような状況の中、大阪市こころの健康センターでは、平成 12 年 10 月から専門の精神科医師による薬物関連問題相談（予約制）を実施している。

【平成 28 年度 薬物関連問題相談実施状況】

相談件数 (人)

	男性	女性	合計
実件数	17	6	23
延件数	30	7	37

対象者の内訳 (人)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	合計
男性	0	1	1	10	2	3	17
女性	1	2	1	2	0	0	6
合計	1	3	2	12	2	3	23

相談者別（重複あり） (人)

本人	11
配偶者	3
両親	6
兄弟・姉妹	1
その他（知人、支援者など）	24

薬物の種類（重複あり） (人)

覚せい剤	30
大麻	6
有機溶剤	3
危険ドラッグ	4
その他（睡眠薬、抗精神薬など）	11

主な相談内容

・ 家族の対応の仕方について	・ 薬物依存症はどんな病気か
・ 薬物依存症の治療について	・ 治療につなげるにはどうしたらよいか
・ 本人への治療指導を希望	・ 退院後の処遇について
・ 断薬継続のための生活上の注意について	・ 家族間の調整
・ 地域支援に向けての処遇検討	など

8. 援助方法 (件)

助言	630
他機関紹介	265
傾聴	1,467
その他	62
合計	2,424

(7) 自殺防止対策事業

全国の自殺者数は平成 10 年に急増し 3 万人を超えて以来、連続して 3 万人を超える状態が続いていた。平成 24 年は 15 年ぶりに 3 万人を下回り、平成 25 年、平成 26 年と 3 年連続で 3 万人を下回ったが、依然として多い状況には変わらない。国は自殺対策基本法に基づく自殺対策の指針である「自殺総合対策大綱」を策定し、その中で地方公共団体をはじめ、医療機関、民間の団体等との密接な連携を図りつつ総合的に自殺対策を推進していくこととしている。

また、平成 21 年 4 月に発表された「経済危機対策」の具体的施策の中で、都道府県に当面 3 年間の対策に係る「地域自殺対策緊急強化基金」を造成(その後の補正予算で基金を積み増し、平成 26 年度まで延長。)し、平成 26 年度補正予算において同基金の対象を一部限定しつつ、新たに地域自殺対策強化交付金を設けて、地域における自殺対策力を強化してきた。

大阪市の平成 27 年の自殺死亡率(人口 10 万人あたりの自殺死亡者数。人口動態統計。)は 22.0 と政令指定都市の中では最も高い値になっており、これらの状況を受け自殺防止対策として次の事業を行っている。

ア 自死遺族相談

平成 19 年 11 月から「自死遺族相談」を開設し、自死遺族に対して臨床心理士・精神保健福祉相談員等による面接相談を実施している。

相談実施日 第 1・第 3 金曜日、第 2・第 4 木曜日(予約制)

平成 28 年度実施状況

実人数 15 人 延相談数 64 件

イ 自殺未遂者相談支援事業

自殺には多様かつ複雑な原因・背景があり、自殺未遂者を支えるためには心身の健康から社会的支援まで総合的・複合的な取り組みが必要なことから、平成 21 年 11 月から自殺未遂者への相談支援を開始した。

本事業は、警察署で自殺未遂者として取り扱った方の相談に応じ、精神科医療の必要な方は医療に繋ぎ、また心理的に追い込まれ、視野狭窄に陥るなど一時的に理解・判断ができなくなっている方に対して傾聴相談を行い適切な関係機関に繋ぎ、更なる自殺行為を防ぐことを目的とする。

開始時は市内 4 区(東淀川・港・城東・住吉)で試行実施し、平成 22 年 7 月から 12 区(前述に加え淀川・生野・鶴見・阿倍野・住之江・東住吉・平野・西成)に拡充し、平成 23 年 1 月から市内全域を対象に実施している。また、平成 25 年 1 月からは、大阪府全域で実施している。

平成 28 年度実施状況

受理延件数 351 件

ウ ゲートキーパーの養成

自殺防止のために一番大切な気づきが行える地域の中心的な役割を果たすべき人材（ゲートキーパー）の育成として、大阪府内の大学に在学する大学生等に研修を実施している。

ゲートキーパー養成研修

年 月 日	内 容・講 師	対 象 者	参加者数
28.11.16	大学生のためのゲートキーパー研修 ～私達にできること～	大阪経済大学	22人
28.11.21	大学生のためのゲートキーパー研修 ～私達にできること～	大阪総合保育大学	115人
28.12.18	大学生のためのゲートキーパー研修 ～私達にできること～	相愛大学	49人

エ 自殺予防週間の取り組み

9月10日～16日の「自殺予防週間」にあわせて大阪府・堺市等とともに「自殺予防街頭キャンペーン」及び「集中電話相談」を行った。

自殺予防街頭キャンペーン

- 1) 日 時：平成28年9月10日（土）午前11時～12時
- 2) 場 所：京橋駅前等
- 3) 内 容：自殺予防カード入りポケットティッシュ等の配布
- 4) 主 催：大阪市、大阪府、堺市

オ 自殺対策強化月間の取り組み

「自殺対策強化月間」（3月）にあわせて大阪府・堺市等とともに「自殺予防街頭キャンペーン」及び「集中電話相談」を行った。

1. 自殺予防街頭キャンペーン

- 1) 日 時：平成29年3月1日（水）午前8時～9時
- 2) 場 所：京橋駅前等
- 3) 内 容：自殺予防カード入りポケットティッシュ等の配布
- 4) 主 催：大阪市、大阪府、堺市

2. 集中電話相談

- 1) 期 間：平成29年3月1日（水）～平成29年3月31日（金）（24時間受付）
（3月1日（水）は午前9時から開始、3月31日（金）は午後5時で終了）
- 2) 内 容：自殺に関する相談やこころの健康に関する相談をおこなう24時間の集中電話を設置
- 3) 主 催：大阪府、大阪市、堺市

カ うつ病予防の普及啓発

各種パンフレット等を作成し、「こころの健康問題」に対する意識の高揚を図っている。

キ うつ病の家族教室

家族が正しい知識を学び、病気を理解し、本人への接し方を考えるためのうつ病の家族教室（1クール2回を2クール）を開催した。また、うつ病家族の自助グループの育成を目指し、継続して交流会を行っている。

実施状況

第1クール 実人数 17人 延参加者数 31人

第2クール 実人数 14人 延参加者数 23人

交流会（平成28年4月～平成29年3月）

開催回数 11回 実人数 11人 延参加者数 61人

ク 大阪市自殺対策検討連絡会議

平成21年3月から大阪市精神保健福祉審議会・自殺防止対策部会と大阪市関係各担当が連携して自殺対策を推進し、施策等について協議・検討するため、大阪市自殺対策検討連絡会議を開催している。

第14回（平成29年2月3日 大阪市役所地下1階 第8共通会議室）

- ・平成27年中における大阪市の自殺の状況
平成27年と平成26年中における大阪市の自殺の状況比較
- ・自殺の危機経路について
- ・各所属の自殺防止対策の取り組みについて
- ・講演「若年者（20～30代）の自殺の傾向と特徴」
- ・その他

(8) ひきこもり相談窓口事業

「ひきこもり」は様々な要因の結果として、就学や就労などの社会的参加を回避し、自宅以外での生活の場が長期にわたり失われている状態である。現在ひきこもり状態にある子どものいる世帯は、全国で約26万世帯と推計され、大きな社会問題となっている。

大阪市では、こころの健康センターにおいて、平成21年度よりひきこもり地域支援センターの運営を開始し、ひきこもり問題の早期発見・早期対応のため、情報把握、精神保健医療等のサービスの必要性の判断、必要な支援機関につなぐ等の支援を行い、ひきこもりの一次相談窓口や情報発信、関係機関との連携など、ひきこもりの相談を実施するとともにその推進を図っている。

また、対象者の相談内容等に応じた適切な支援を行うことができるよう、事例検討会や関係局会議を開催している。

ひきこもり電話相談 開設時間：平日の午前10時～正午

電話相談後、必要に応じ面接・訪問を行っている。

ア 平成28年度ひきこもり電話相談件数

1. 相談件数内訳 (件)		5. 対象者居住地 (件)		6. 相談種別 (件)	
延件数	405	北	3	不登校	17
実件数	131	都島	5	ひきこもり(第1群:精神)	33
2. 相談者 (人)		福島	2	ひきこもり(第2群:発達)	22
ひきこもり本人	46	此花	2	ひきこもり(第3群:PD等)	2
母	47	中央	3	ひきこもり(その他)	21
父	7	西	3	その他	36
配偶者	1	港	2	計	131
子ども	0	大正	5	7. 相談内容(重複あり) (件)	
兄弟姉妹	14	天王寺	3	1 本人との関わり方	24
友人	0	浪速	1	2 就学・学業	5
その他	16	西淀川	2	3 就労	10
計	131	淀川	7	4 当事者の居場所	7
3. 対象者の性別 (人)		東淀川	10	5 医療機関	17
男性	93	東成	5	6 親の会	0
女性	36	生野	4	7 将来の不安	32
不明	2	旭	5	8 金銭面	0
計	131	城東	6	9 他者との交流	0
4. 対象者の年齢 (件)		鶴見	4	10 話を聞いてほしい	19
18歳未満	13	阿倍野	6	11 他都市の情報	0
18・19歳	8	住之江	5	12 その他	17
20歳代	32	住吉	6	計	131
30歳代	26	東住吉	5	8. 相談後の処遇 (件)	
40歳代	23	平野	12	助言	31
50歳代以上	14	西成	1	他機関紹介	41
不明	15	市内だが不明	12	傾聴	30
計	131	市外	9	面接予約	19
		不明	3	他機関との連携	2
		計	131	その他	8
				計	131

イ 平成 28 年度ひきこもり面接相談件数（52 件）

1. 面接相談者(重複あり)

ひきこもり本人	6
母	29
父	7
配偶者	2
子ども	0
兄弟姉妹	6
友人	0
その他	2
計	52

2. 面接の種別

不登校	4
ひきこもり(第1群:精神)	15
ひきこもり(第2群:発達)	13
ひきこもり(第3群:PD等)	0
ひきこもり(その他)	5
その他	4
計	41

3. 面接結果の処遇

助言	15
他機関紹介	13
傾聴	6
面接予約	3
アウトリーチ予約	1
他機関との連携	1
その他	2
計	41

ウ 平成 28 年度ひきこもりアウトリーチ（訪問支援）件数（7 件）

	10代	20代	30代	40代以上	年齢不明	延件数	実件数
男性	0	3	2	1	0	12	6
女性	0	1	0	0	0	1	1
計	0	4	2	1	0	13	7

(9) 薬物依存症者等ケア強化事業

「あいりん地域を中心とした環境整備」(5か年計画)の一環として、平成26年度から大阪府と協働し、薬物依存症者等に特化した集中的な取り組みを実施している。

1) 専門的なケアの強化

- 依存症治療拠点機関設置運営事業(大阪府単独実施)
- 当事者支援専門プログラム事業(本市・大阪府協同実施)
- 家族心理教育事業(本市・大阪府各々実施)

2) 専門研修

- 関係機関職員専門研修事業(大阪府単独実施)
- 医療機関職員専門研修事業(大阪府単独実施)

3) 社会復帰支援の強化

- 地域における断薬継続促進モデル事業(本市単独実施)
- 当事者支援ネットワーク検討会議(大阪府単独実施)

本市としては、以下の事業を実施している。

ア 家族心理教育事業(薬物依存症者の家族教室)

薬物関連問題(依存症)に悩む人たちを支える家族のための教室(3回コース)を開催した。

年月日	テーマ	講師	参加者数
29.1.26	薬物依存症者と家族の対応について	関西医科大学精神神経科学教室 助教授 池田 俊一郎	5人
29.2.14	CRAFTを用いた家族の対応について	藤井クリニック 精神保健福祉士 社会福祉士 小野 史絵	5人
29.2.28	CRAFTを用いた家族の対応について	藤井クリニック 精神保健福祉士 社会福祉士 小野 史絵	3人

イ 地域における断薬継続促進モデル事業

薬物依存症者や違法薬物等使用経験者が断薬を継続できるように、また、社会復帰への意欲が高められるように、訪問(アウトリーチ)を中心とした支援を行っている。

(10) 組織の育成

地域精神保健福祉の向上を図るため、保健福祉センターにおいて、各区の自助組織・家族会・ボランティア等の育成に努めているが、これに協力するとともに、広域的な組織の育成に努めている。

(11) 精神医療審査会

平成8年4月からの精神保健福祉法の大都市特例の施行に伴い、同法第12条に基づき、大阪市精神医療審査会を設置し、平成12年4月の大阪市こころの健康センター設立により、その事務局を同センターに置いた。精神医療審査会は10名の委員で構成され2つの合議体に区分し、定期病状報告書等の審査及び退院・処遇改善請求等の審査を行い、精神科病院入院患者の適正な医療及び保護の確保に努めている。なお、精神医療審査会の円滑な運営のために予備委員1名をおいている。

ア 開催状況

全体会議	平成29年 3月27日
合議体 審 査	平成28年 4月21日
	平成28年 5月20日
	平成28年 6月16日
	平成28年 7月15日
	平成28年 8月18日
	平成28年 9月16日
	平成28年10月20日
	平成28年11月18日
	平成28年12月15日
	平成29年 1月20日
	平成29年 2月17日
	平成29年 3月17日

イ 入院届・定期病状報告の審査状況

(件)

		医療保護入院者の入院届	医療保護入院者の定期病状報告	措置入院者の定期病状報告	合 計
審 査 件 数		732	1	24	757
結 果	現入院形態が適当	732	1	24	757
	他の入院形態へ移行	0	0	0	0
	入院の必要なし	0	0	0	0

ウ 退院・処遇改善請求の審査状況

(件)

請求件数		結果	
退院請求 (うち処遇改善請求を含む)	13 (5)	現入院形態が適当	7
		他の入院形態へ移行	1
		取り下げ等	5
処遇改善請求 (単独)	4	現処遇が適当	0
		現処遇が不適当	0
		取り下げ等	4

エ 実地審査状況

入院後概ね3か月を経過した措置入院患者及び実地審査の必要があると認められた医療保護入院患者等を対象に、病状及び措置に関する実地審査を実施し、精神障がい者の人権尊重を基本とした適正な医療の確保に努めている。

(件)

	審査件数	結果		対象となった 病院数
		現入院形態が適当	他の入院形態へ移行	
措置入院	10	10	0	5
医療保護入院	5	5	0	5
任意入院	7	7	0	6
合計	22	22	0	16

(12) 大阪市自立支援医療費(精神通院)支給認定・手帳交付審査委員会の運営(委員数7人)

平成18年4月1日に精神保健福祉審議会の部会として設置し、平成21年8月1日からは、組織を独立させ、審査会議として設置要綱を制定し、さらに、平成25年4月1日からは執行機関の附属機関に関する条例に基づき、大阪市自立支援医療費(精神通院)支給認定・手帳交付審査委員会として設置している。自立支援医療費(精神通院)支給認定、精神障がい者保健福祉手帳の等級判定に係る審査を行う委員会の運営を行っている。

平成28年度開催回数 22回

2 精神保健福祉主管課業務

平成12年4月の大阪市こころの健康センター開設時より、精神保健福祉主管課の業務の一部を実施している。

(1) 精神保健福祉審議会の運営(委員数 12人)

精神保健福祉法第9条第1項及び大阪市精神保健福祉審議会条例に基づき、本市の精神保健福祉施策全般について審議する大阪市精神保健福祉審議会の運営事務を行っている。

第22回 大阪市精神保健福祉審議会

開催日：平成29年3月30日

議 題： 「大阪市精神保健福祉審議会自殺防止対策部会」の開催状況について
平成29年度精神保健福祉関係予算の概要について
地域支援調整チームからの意見に対する回答について
その他

(専門部会)

ア 自殺防止対策部会(委員数 10人)

平成20年7月1日に自殺防止対策部会設置要綱を制定し、自殺対策基本法の理念に基づき、市民が「生きやすい社会」の実現を目指し、総合的・効果的な自殺防止対策について審議を行っている。

第18回 大阪市精神保健福祉審議会・自殺防止対策部会

開催日：平成28年9月30日

議 題： 平成27年中における大阪市の自殺の状況及び平成27年中と平成26年中における大阪市の自殺の状況比較
平成28年度の自殺対策の実施状況について
平成29年度の自殺対策の取り組みについて
その他

第19回 大阪市精神保健福祉審議会・自殺防止対策部会

開催日：平成29年2月28日

議 題： 平成28年度の自殺対策の実施状況について
平成29年度の自殺対策の取り組みについて
その他

(2) 措置・緊急措置診察(入院)事業

ア 措置診察

精神保健福祉法第27条にもとづく精神保健指定医による措置診察を実施している。措置入院患者の移送については、本市職員が同乗して本市救急車で移送を行っている。

(件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
措置診察件数 (含む本鑑定)	17	14	11	13	11	9	11	7	11	5	9	9	127
22条申請	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23条通報	15	12	11	10	10	9	9	7	11	3	8	6	111
24条通報	2	2	0	3	1	0	2	0	0	2	1	3	16
26条等通報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
措置入院件数(該当)	15	13	10	10	10	8	9	6	10	5	8	9	113
非該当件数	2	1	1	3	1	1	2	1	1	0	1	0	14
要入院	2	1	1	3	1	1	2	1	1	0	1	0	14
要通院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医療不要等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

イ 緊急措置診察

夜間・休日の対応については、緊急措置診察受付窓口を大阪府・堺市と共同で設置し、平日夜間は午後5時から翌日午前9時、休日は24時間、警察からの通報を受け付け、待機職員が緊急措置診察業務を行っている。

(件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
緊急措置診察件数	11	11	11	7	10	8	9	6	11	2	7	12	105
緊急措置入院件数(該当)	10	9	8	7	10	5	7	6	11	1	7	8	89
非該当件数	1	2	3	0	0	3	2	0	0	1	0	4	16
要入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要通院	1	1	3	0	0	3	1	0	0	1	0	4	14
医療不要等	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
緊急措置入院後の措置診察件数	9	9	6	7	9	5	7	4	10	2	7	6	81

(3) 医療保護入院等の移送事業

精神保健福祉法第34条に基づく「医療保護入院等のための移送事業」については平成12年7月から開始した。移送のための診察にあたっては各区の保健福祉センターと大阪市こころの健康センターが合同で事前調査を行っている。移送は本市の救急車で行き、大阪市こころの健康センター職員が同乗し、精神障がい者の人権に配慮した医療の確保に努めている。

【平成28年度実績 0件】

(4) 精神障がい者保健福祉手帳の交付

各種の支援サービス利用を可能にし、精神障がい者の社会復帰と社会参加の促進を図るために交付している。

【平成28年度末精神障がい者保健福祉手帳交付者数 31,637名】

(1級 2,727人 2級 17,776人 3級 11,134人)

(5) 市営交通料金福祉措置

平成9年10月から、市営の地下鉄・市バス・ニュートラム等の乗車料金を等級に応じた割引を実施しており、手帳所持者に乗車料金割引証または無料乗車証を交付している。

(6) 自立支援医療費(精神通院)の支給認定

障害者総合支援法に基づき精神障がい者の通院医療について、医療費の一部に対し公費負担を行っている。

【平成28年度末受給者数 57,497人】

【自立支援医療費(精神通院)公費負担額 10,114,446千円】

(7) 精神障がい者地域生活支援広域調整等事業

大阪市では平成14年11月から精神科病院に長期入院中の患者の退院に向けて地域生活移行支援事業を実施してきた。平成18年4月に障がい者自立支援法が成立し、地域生活支援事業のうち精神障がい者退院促進支援事業が都道府県業務となったが、大阪市は大阪府から委託をうけて、市内9か所の地域活動支援センター(生活支援型)の自立支援員やピアサポーターとともに事業を実施してきた。

また、平成20年度に、国による「地域移行支援特別対策事業実施要綱」が制定されたことで、本市も「コーディネーターの配置」「退院促進ピアサポート事業」「体験宿泊推進事業」を特別強化策として実施し、平成21年度には、本事業のさらなる推進を図るために「精神障がい者地域生活移行支援事業検討会議」を設置した。

平成24年度の障害者自立支援法の改正により地域移行支援が個別給付となっている。

ア 地域移行支援の実施状況

(人)

年度	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
退 院	13	10	13	18	21	19	15	14	16	15	8
退院に至らず支援中止・中断	2	6	1	1	2	2	2	6	10	4	0
退院に至らず支援継続	30	34	34	38	32	26	17	24	18	11	13
合 計	45	50	48	57	55	47	34	44	44	30	21

ピアサポーターは、入院患者や病院関係者に対し地域生活について情報提供することで、入院患者の退院意欲を高めると共に、精神科病院職員の地域移行への士気を高めることで地域移行支援等の利用を促進することを目的として実施している。

精神科病院への啓発

実施日	場 所	対 象 者	参加者数
28. 4. 15	岸和田保健所圏域	入院患者	4人
28. 6. 27	岸和田保健所圏域	入院患者	5人
28. 7. 14	浅香山病院	入院患者	25人
28. 7. 22	浅香山病院	入院患者	10人
28. 8. 25	浅香山病院	入院患者	23人
28. 8. 29	岸和田保健所圏域	入院患者	5人
28. 9. 1	浅香山病院	入院患者	3人
28. 9. 16	浅香山病院	入院患者	15人
28. 9. 23	浅香山病院	入院患者	32人
28.10.21	岸和田保健所圏域	入院患者	5人
28.10.27	浅香山病院	入院患者	11人
28.11.10	浅香山病院	入院患者	15人
28.11.14	浜寺病院	入院患者	7人
28.11.24	浅香山病院	入院患者	28人
28.12. 2	浜寺病院	入院患者	7人
28.12.19	岸和田保健所圏域	入院患者	6人
29. 1.26	浅香山病院	入院患者	22人
29. 2.28	岸和田保健所圏域	入院患者	6人
29. 3. 2	浅香山病院	入院患者	20人
29. 3.17	美原病院	病院職員	10人
29. 3.22	こころの健康センター	地域移行支援利用者、 病院職員、地域支援者、 ピアサポーター	18人
29. 3.23	浅香山病院	入院患者	11人
29. 3.30	浅香山病院	入院患者	17人

市民への啓発

実施日	場 所	対 象 者
28.7.8	阿倍野区保健福祉センター	患者家族
28.7.19	城東区保健福祉センター	患者家族
28.7.27	生野区保健福祉センター	患者家族
28.7.28	住之江区保健福祉センター	患者家族
28.8.5	住吉区保健福祉センター	患者家族
28.8.18	都島区保健福祉センター	社会復帰相談指導事業利用者
28.9.9	西区保健福祉センター	ボランティア
28.9.16	港区保健福祉センター	患者家族
28.9.29	こころの健康センター	市民
28.10.24	阿倍野区保健福祉センター	関係機関職員
28.11.29	東住吉保健福祉センター	患者家族
29.1.13	阿倍野区保健福祉センター	患者家族
29.2.15	西淀川区保健福祉センター	患者家族
29.2.20	阿倍野区保健福祉センター	ボランティア
29.2.22	都島区保健福祉センター	患者家族
29.2.22	生野区保健福祉センター	患者家族

ウ ピアサポーター交流会

ピアサポーターが当事者支援の輪と活動の場を広げることを目的とし交流会を行った。

実施日	内 容	場 所	参加者数
28.6.15	・交流会の運営について ・これからの活動について	こころの健康センター	13人
28.8.17	・病気の体験談 ・ピアサポーター活動について	こころの健康センター	14人
28.10.4	・啓発活動について ・情報交換	こころの健康センター	16人
29.1.23	・新任保健師との交流 ・地域交流会について	こころの健康センター	14人

エ ピアサポーター養成講座

入院患者の退院意欲を高め、社会的入院を解消していくためには、当事者の仲間であるピアサポーターの存在が極めて重要かつ有効である。地域生活移行支援事業を利用して退院し地域生活を送っている精神障がい者等でピアサポート活動を希望する者を対象とし、当事者支援の輪と活動の場を広げることを目的に養成講座を開催している。平成28年度は6人名修了した。

実施日	内 容	講 師
28.9.5	ピアサポートの持つ意義と役割	大阪府立大学社会福祉学部 准教授 松 田 博 幸
28.9.12	リハビリについて	大阪府立大学社会福祉学部 准教授 松 田 博 幸
28.9.26	精神科病院でのピアサポーターの関わりと地域での啓発活動	ピアサポーター
28.10.4	語りの効果	大阪市立大学大学院 助教 清 水 由 香
28.10.11	語りの実際	こころの健康センター 精神保健福祉相談員
28.10.17	語りの実際	こころの健康センター 精神保健福祉相談員
28.10.25	語りの実践とその評価について	桃山学院大学 教授 栄 セツコ
28.11.9	退院促進の意義と大阪の精神科病院事情	大阪精神医療人権センター 山 本 深 雪

オ 技術支援・コーディネート

内 容	訪問（件）	電話（件）
地域移行ケース相談	0	20
地域移行相談者への事前面接	11	
地域移行相談者ケースカンファレンス	9	
地域移行相談者への継続面接	10	
地域移行ケア会議	4	
病院訪問啓発活動及び連絡調整	24	72
病院啓発講座	21	
合 計	79	92

カ 相談支援事業への研修

障がい者基幹相談支援センターと協力し、相談支援事業所に研修を行った。

実施日	内容	場所	参加者数
28.8.18	・精神障がい者の支援について	こころの健康センター	34人

キ 大阪市精神障がい者地域生活移行支援事業検討会議におけるワーキンググループ会議

実施日	内容	場所	参加者数
28.6.21	・地域移行支援の課題について	こころの健康センター	16人
28.7.27	・精神保健福祉行政における地域移行の他都市状況について	こころの健康センター	13人
28.8.30	・社会的入院者（被保護者）の対応状況について ・長期入院者の退院意欲の喚起について	こころの健康センター	12人
28.9.28	・社会的入院者（被保護者）の対応状況について ・長期入院者の退院意欲の喚起について	こころの健康センター	14人
28.11.15	・社会的入院者（被保護者）の対応状況について ・長期入院者の退院意欲の喚起について	こころの健康センター	16人
28.12.21	・平成28年度第1回地域生活移行支援事業検討会議報告 ・長期入院者の退院意欲の喚起について	こころの健康センター	10人
29.1.27	・長期入院者（事例）を通して ・長期入院者（被保護者）の今後の取組	こころの健康センター	10人

ク 大阪市精神障がい者地域生活移行支援事業検討会

精神障がい者の地域移行支援を効果的に実施し、精神障がい者の社会的入院解消を推進するため、業務の検討を行う。

実施日：平成 28 年 12 月 9 日

議 題： 平成 27 年度 こころの健康センターの取り組み（報告）
平成 28 年度 こころの健康センターの取り組み
平成 27 年度 精神科在院患者調査報告（速報）

実施日：平成 29 年 3 月 21 日

議 題： 平成 28 年度 こころの健康センターの取り組み（報告）
平成 29 年度 こころの健康センターの取り組み

(8) 心神喪失者医療観察法に基づく社会復帰支援事業

重大な他害行為を行った心神喪失者等に対して継続的かつ適切な医療や地域ケアを確保して、その社会復帰を促進することを目的に心身喪失者等医療観察法が平成 17 年に施行された。

こころの健康センターでは、保護観察所および医療機関が定例的に実施するケア会議に出席し、関係機関、各区保健福祉センターが主体的に地域処遇にかかわれるよう技術支援をしている。

平成 17 年 7 月から 28 年度末までの対象者は 82 人で、平成 28 年度末までに医療観察処遇終了者は 69 人となっている。

平成 27 年度医療観察法対象者および支援状況

対象者 :25 人

処遇内訳:入院処遇対象者 6 人 通院処遇対象者 19 人

疾病別 :統合失調症 17 人 アルコール依存症 1 人

覚醒剤後遺症 1 人 妄想性障がい 2 人

双極性感情障がい 2 人 その他 2 人

ケア会議出席:93回

(9) 精神科救急医療体制整備事業

ア おおさか精神科救急ダイヤルの設置

大阪府・堺市と共同で相談窓口の少ない夜間・休日の時間帯を中心に精神科救急医療の利用などについて、平成14年7月29日から、24時間体制で電話相談に応じることのできる「こころの救急相談」を設置していた。平成27年度より開設時間を夜間・休日とし、「おおさか精神科救急ダイヤル」に変更した。かかりつけの医療機関が診療を行っていない夜間・休日において、精神疾患を有する方やその家族の方などから、こころの病気に関する緊急時に必要に応じて精神科救急医療機関の利用について案内を行うとともに、相談のなかで医療的な判断等が必要な場合は精神科救急病院の医師の助言を求めて速やかに対応を行う。

平成28年度（平成28年4月1日～平成29年3月31日）おおさか精神科救急ダイヤル利用状況

（大阪府下全域の合計件数）

(1) 相談利用

種別	件数(件)	割合(%)
新規	5,066	27.9
継続	11,522	63.7
不明	1,536	8.4
合計	18,124	100.0

(2) 利用者

種別	件数(件)	割合(%)
本人	13,629	75.2
家族その他	4,495	24.8
合計	18,124	100.0

(3) 性別

種別	件数(件)	割合(%)
男	8,073	44.6
女	9,208	50.8
不明	843	4.6
合計	18,124	100.0

(4) 地域

種別	件数(件)	割合(%)
大阪市内	5,994	33.1
府域	9,690	53.5
他府県	231	1.3
不明	2,209	12.1
合計	18,124	100.0

(5) 年齢

種別	件数(件)	割合(%)
10歳未満	26	0.1
10歳代	300	1.7
20歳代	1,188	6.6
30歳代	2,277	12.6
40歳代	4,062	22.4
50歳代	4,683	25.8
60歳代	2,115	11.7
70歳代	378	2.1
80歳代以上	260	1.4
不明	2,835	15.6
合計	18,124	100.0

(6) 相談内容（複数有り）

結果	件数(件)	割合(%)
医療機関	11,472	60.0
福祉関係	149	0.8
その他	7,528	39.2
合計	19,149	100.0

イ 精神科救急医療情報センターの設置

おおさか精神科救急ダイヤル、救急隊、警察からの相談に対して、精神科救急医療情報センターの精神保健福祉士等が医療機関と連携して受診が必要かどうかを判断し、受診が必要な場合は症状等にあった医療機関に受診を予約している。

【受付時間】

平日 17時から翌朝9時
土曜日・休日 9時から翌朝9時

ウ 一次救急医療体制の整備

精神科救急医療情報センター、おおさか精神科救急ダイヤルで外来対応可能と判断された場合に、大阪市が開設している精神科一次救急診療所にて外来対応を行っている。

【受付時間】

平日・土曜日 20時から23時
日曜日・休日 10時から16時

エ 二次救急医療体制の整備

精神科救急医療情報センターで入院医療も含めた救急受診が必要と判断された場合に速やかに入院できるよう、府内の精神科病院に救急入院用病床を確保するとともに外来対応も行っている。

【受付時間】

平日 17時から翌朝9時，土曜日・休日 9時から翌朝9時

確保病床件数及び受診件数(大阪市・大阪府・堺市) (件)

	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
病床確保数	3,290	1,969	1,341	1,502	2,190	2,857	2,928	3,023	3,016	3,031	3,031
入院件数	1,395	1,297	1,227	1,346	1,361	1,379	1,518	1,309	1,367	1,425	1,339
外来受診件数	527	481	373	458	445	436	397	384	327	334	254
合計	1,922	1,778	1,600	1,804	1,806	1,815	1,915	1,693	1,694	1,759	1,559

オ 身体合併症治療体制の確保

平成14年4月1日から大阪府の精神科救急医療システムで運用し、大阪府・堺市と共同で身体合併症受入病院を府下に11病院で対応している。

身体合併症受入病院(11病院)

北野病院・大阪大学医学部附属病院・大阪府立急性期・総合医療センター

大阪市立大学医学部附属病院・藍野病院・関西医科大学総合医療センター・東香里病院

浅香山病院・大阪医科大学附属病院・大阪市立総合医療センター・大阪赤十字病院

身体合併症患者の受入件数(大阪市・大阪府・堺市) (件)

病院名	精神科 病床数	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
北野病院	20	1	3	1	1	0	0	1	0	0	0	0
大阪大学医学部附属病院	52	3	1	4	1	1	1	0	2	2	0	5
大阪府立急性期・総合医療センター	34	21	23	36	92	108	111	102	86	83	67	64
大阪市立大学医学部附属病院	40	4	2	7	3	5	6	5	1	4	4	2
藍野病院	600	77	57	75	127	74	74	73	78	70	81	118
関西医科大学総合医療センター	39	2	6	3	2	3	4	10	9	5	2	14
東香里病院	173	31	25	29	21	16	18	5	17	6	13	9
浅香山病院	948	65	63	54	61	41	45	37	37	33	46	29
大阪医科大学附属病院	60	5	15	10	9	6	8	9	9	19	14	12
大阪市立総合医療センター	55	9	9	3	8	7	9	22	24	33	23	31
大阪赤十字病院	42	5	8	7	9	4	2	5	2	4	8	8
合計	2,063	223	212	229	334	265	278	269	265	259	258	292

病床数は平成29年3月31日現在の数である。

カ 夜間・休日精神科合併症支援システム

精神科合併症患者については、医療機関での受け入れが、通常の場合に比べ時間を要している状況であり、精神科合併症患者を受け入れた二次救急病院や救命救急センター（以下、「二次救急病院等」と言う。）を支援し、救急患者をスムーズに受け入れ、その後の治療まで切れ目なく対応するために、大阪府・堺市と共同で「夜間・休日精神科合併症支援システム」を平成27年8月17日から運用している。

システムの稼働時間

平日夜間（午後5時から翌朝9時まで）及び休日（土・日曜日、祝日、年始・年末）

輪番の合併症支援病院（精神科病院）数及びベッド数

2病院、ベッド数2床（各病院1床ずつ）

利用状況（平成27年8月17日から平成29年3月31日）

（件）

	平成27年度				平成28年度			
	入院	外来	コンサルのみ	合計	入院	外来	コンサルのみ	合計
4月					9	1	13	23
5月					16	1	10	27
6月					7	0	6	13
7月					6	0	5	11
8月	5	2	4	11	10	1	9	20
9月	6	1	7	14	4	1	7	12
10月	7	2	4	13	13	2	12	27
11月	7	0	10	17	9	1	15	25
12月	9	2	4	15	4	4	8	16
1月	6	0	8	14	14	2	6	22
2月	7	0	8	15	6	1	8	15
3月	5	1	4	10	9	4	12	25
合計	52	8	49	109	107	18	111	236

おおさか精神科救急情報センター 平成28年度（平成28年4月1日～平成29年3月31日）実績報告

1. 対応件数

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総件数	253	243	251	249	253	215	223	201	185	188	176	199	2,636

2. 相談経路

	件数
救急隊	753
おおさか精神科救急ダイヤル	783
警察	865
その他	235
合計	2,636

3. 発生地域

	件数
大阪府	1,436
大阪市	1,035
堺市	163
府外発生対象外	1
不明	1
合計	2,636

4. 対象者性別

	件数
男性	1,202
女性	1,416
不明	18
合計	2,636

5. 対応医療機関件数

(件)

浅香山	16
小曽根	5
こころあ	24
貝塚中央	72
木 島	113
久米田	158
京 阪	40
光 愛	10
国 分	153
阪 本	37
さ わ	303
汐の宮温泉	141
七 山	101
ねや川サナトリウム	43
阪 南	294
水 間	22
浜 寺	49
精神医療センター	4
茨 木	6
新阿武山	48
大阪さやま	10
八尾こころのホスピタル	8
関西サナトリウム	17
丹比荘	54
阪奈サナトリウム	11
ほくとクリニック	161
関西記念	26
吉 村	8
オレンジホスピタル	6
小 阪	7
榎 坂	5
新生会	0
東香里	4
合 計	1,956

6. 時間帯別入電件数

(件)

0:00～0:59	212
1:00～1:59	105
2:00～2:59	103
3:00～3:59	54
4:00～4:59	75
5:00～5:59	45
6:00～6:59	34
7:00～7:59	10
8:00～8:59	6
9:00～9:59	71
10:00～10:59	59
11:00～11:59	73
12:00～12:59	57
13:00～13:59	63
14:00～14:59	78
15:00～15:59	60
16:00～16:59	46
17:00～17:59	317
18:00～18:59	214
19:00～19:59	213
20:00～20:59	226
21:00～21:59	192
22:00～22:59	174
23:00～23:59	149
合 計	2,636

(10) 精神保健福祉に関する予算・決算業務

社会復帰施設の建設・整備以外の精神保健福祉に関する事業の予算・決算業務等を大阪市こころの健康センターで実施している。

第 3 資 料

1 大阪市精神保健福祉審議会 開催内容

第1回 平成8年4月30日（火） 於；大阪コクサイホテル

審議事項

- ・大阪市精神保健福祉審議会の設置について
- ・大阪市精神保健福祉審議会条例

第2回 平成9年9月12日（金） 於；大阪第一ホテル

審議事項

- ・大阪市の精神保健福祉センターの機能のあり方について
- ・（仮称）大阪市障害者支援プランについて

報告事項

- ・平成9年度精神保健福祉関係事業について
- ・大和川病院について

第3回 平成10年9月11日（金） 於；大阪市役所

審議事項

- ・審議会の公開について
- ・大阪市障害者支援プランについて
- ・地域保健法及び地域精神保健福祉体制について

報告事項

- ・平成10年度精神保健福祉事業について
- ・精神保健福祉法の改正について

第4回 平成12年2月22日（火） 於；大阪市役所

審議事項

- ・「大阪市障害者支援プラン」の進捗状況等について
- ・「（仮称）大阪市こころの健康センター」の設置と新たな地域精神保健福祉体制について
- ・大阪市内における精神科救急体制の検討について
- ・施設コンフリクトの解消に向けた基本的な考え方について

報告事項

- ・精神保健福祉法の改正について

第5回 平成13年2月8日(木) 於;こころの健康センター

審議事項

- ・「大阪市内における精神科救急医療体制の整備に関する中間とりまとめ(案)」について

報告事項

- ・「大阪市障害者支援プラン」の進捗状況等について
- ・大阪市こころの健康センターの事業実績等について

第6回 平成14年3月28日(木) 於;こころの健康センター

審議事項

- ・大阪市の精神科救急医療体制の整備について

報告事項

- ・「大阪市障害者支援プラン」の進捗状況等について
- ・精神保健福祉に関する平成14年度新規事業

第7回 平成15年2月7日(金) 於;こころの健康センター

審議事項

- ・(仮称)大阪市精神科救急医療部会の設置について
- ・新障害者支援計画の策定について

報告事項

- ・大阪市こころの健康センターの事業実績等について

第8回 平成16年3月26日(金) 於;こころの健康センター

報告事項

- ・「大阪市障害者支援計画・重点施策実施計画」の策定について
- ・「通院医療費公費負担・手帳交付審査部会」「精神科救急医療部会」開催状況について
- ・大阪市こころの健康センター事業実績及び平成16年度予算(案)の概要について

第9回 平成17年3月28日(月) 於;大阪市立大学医学部医療研修センター

報告事項

- ・「大阪市障害者支援計画・重点施策実施計画」の進捗状況について(報告)
- ・「通院医療費公費負担・手帳交付審査部会」「精神科救急医療部会」の開催状況について(報告)
- ・大阪市こころの健康センター事業実績及び平成17年度予算(案)の概要について
- ・「心神喪失者等医療観察法」について
- ・障害者自立支援法案の概要

第10回 平成18年3月28日(火) 於;こころの健康センター

報告事項

- ・障害者自立支援法案の概要について
- ・「通院医療費公費負担・手帳交付審査部会」の開催状況について
- ・新たな精神科救急医療体制について
- ・大阪市こころの健康センター事業実績及び平成18年度予算(案)の概要について
- ・精神保健福祉法改正に伴う精神保健福祉審議会の取り扱いについて

第11回 平成19年3月26日(月) 於;こころの健康センター

報告事項

- ・「精神科救急医療部会」の開催状況について
- ・「自立支援医療費(精神通院)支給認定・手帳交付審査部会」の開催状況について
- ・精神保健福祉関係平成19年度予算の概要について
- ・障害者自立支援法に基づく福祉サービスの現状について
- ・障害福祉計画について

第12回 平成20年3月26日(水) 於;こころの健康センター

審議事項

- ・「自殺防止対策部会」の設置について

報告事項

- ・精神保健福祉関係平成20年度予算の概要について
- ・「精神科救急医療部会」の開催状況について
- ・「自立支援医療費(精神通院)支給認定・手帳交付審査部会」への部会名称変更及び開催状況について
- ・精神保健及び精神障害者福祉に関する法律施行条例について
- ・障がい者福祉サービスの現状について

第13回 平成21年3月30日(月) 於；こころの健康センター

審議事項

- ・「大阪市自殺対策基本指針(案)」について

報告事項

- ・「精神科救急医療部会」の開催状況について
- ・「自立支援医療費(精神通院)支給認定・手帳交付審査部会」の開催状況について
- ・精神保健福祉関係平成21年度予算の概要について
- ・第2期大阪市障害福祉計画について

第14回 平成22年1月21日(木) 於；こころの健康センター

審議事項

- ・会長の選出について
- ・精神保健及び精神障害者福祉に関する法律施行条例の一部改正について
- ・専門部会の再開について

報告事項

- ・自殺防止対策関係識者検討会議の報告について
- ・今後のスケジュールについて

第15回 平成22年3月26日(金) 於；こころの健康センター

報告事項

- ・「精神科救急医療部会」の開催状況について
- ・「自殺防止対策部会」の開催状況について
- ・平成22年度精神保健福祉関係予算の概要について

第16回 平成23年3月14日(月) 於；こころの健康センター

報告事項

- ・「精神科救急医療部会」の開催状況について
- ・「自殺防止対策部会」の開催状況について
- ・平成23年度精神保健福祉関係予算の概要について
- ・障害者制度改革等について

第17回 平成24年3月29日(木) 於；こころの健康センター

報告事項

- ・「精神科救急医療部会」の開催状況について
- ・「自殺防止対策部会」の開催状況について
- ・大阪市障害者支援計画・障害福祉計画について
- ・平成24年度精神保健福祉関係予算の概要について

第18回 平成25年 3月26日(火) 於；こころの健康センター

報告事項

- ・「精神科救急医療部会」の開催状況について
- ・「自殺防止対策部会」の開催状況について
- ・平成25年度精神保健福祉関係予算の概要について

第19回 平成26年 3月26日(水) 於；こころの健康センター

報告事項

- ・「大阪府精神科救急医療運営審議会」の開催状況について
- ・「大阪市精神保健福祉審議会自殺防止対策部会」の開催状況について
- ・平成26年度精神保健福祉関係予算の概要について
- ・次期大阪市障がい者支援計画・大阪市障がい福祉計画の策定について

第20回 平成27年 3月31日(火) 於；こころの健康センター

報告事項

- ・「大阪府精神科救急医療運営審議会」の開催状況について
- ・「大阪市精神保健福祉審議会自殺防止対策部会」の開催状況について
- ・平成27年度精神保健福祉関係予算の概要について
- ・大阪市障がい者支援計画・第4期大阪市障がい福祉計画(案)について

第21回 平成28年 3月23日(水) 於；こころの健康センター

報告事項

- ・「大阪市精神保健福祉審議会自殺防止対策部会」の開催状況について
- ・大阪版新精神科救急体制(精神科合併症支援システム)について
- ・平成28年度精神保健福祉関係予算の概要について
- ・障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の施行に向けた本市の取組みについて

第22回 平成29年 3月30日(木) 於；こころの健康センター

報告事項

- ・「大阪市精神保健福祉審議会自殺防止対策部会」の開催状況について
- ・平成29年度精神保健福祉関係予算の概要について
- ・地域支援調整チームからの意見に対する回答について

2 精神医療審査会

(1) 運営状況

ア 精神医療審査会の開催状況（過去10年間） (回)

		年度										
		19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	
審	査	会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合	議	体	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12

イ 入院届の審査状況（過去10年間） (件)

		年度										
		19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	
入	院	届	199	392	573	590	670	664	672	843	771	732
結 果	現入院形態が適当	199	392	573	590	670	664	672	843	771	732	
	他の入院形態へ移行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	入院の必要なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

ウ 医療保護入院者定期病状報告の審査状況（過去10年間） (件)

		年度													
		19	20	21	22	23	24	25	26	27	28				
定	期	病	状	報	告	1	0	1	0	0	0	0	0	2	1
結 果	現入院形態が適当	1	0	1	0	0	0	0	0	2	1				
	他の入院形態へ移行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	入院の必要なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				

エ 措置入院者定期病状報告の審査状況（過去10年間） (件)

		年度													
		19	20	21	22	23	24	25	26	27	28				
定	期	病	状	報	告	31	16	29	21	17	24	39	33	22	24
結 果	現入院形態が適当	31	16	29	21	17	24	39	33	20	24				
	他の入院形態へ移行	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0				
	入院の必要なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				

オ 退院請求の審査状況（過去10年間） （件）

年度		19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
退 院 請 求		5	10	13	14	19	11	16	16	22	13
結 果	現入院形態が適当	1	4	4	4	6	2	2	7	6	7
	他の入院形態へ移行	0	1	0	0	2	1	5	0	2	1
	取 り 下 げ 等	4	5	9	10	11	8	9	9	14	5

カ 処遇改善請求の審査状況（過去10年間） （件）

年度		19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
処 遇 改 善 請 求		0	0	2	1	3	4	5	1	0	4
結 果	処 遇 が 適 当	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0
	処遇が適当でない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	取 り 下 げ 等	0	0	2	0	2	3	4	0	0	4

(2) 実地審査状況（過去10年間） （件）

年度		19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
審 査 件 数		10	22	16	17	21	26	24	20	22	22
結 果	現入院形態が適当	10	22	16	17	21	26	24	20	21	22
	他の入院形態へ移行	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0
	入院の必要なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3 措置（緊急措置）診察・入院状況（過去10年間）

（件）

年度	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
申請・通報件数	182	197	199	246	290	294	302	373	327	343
22条申請	3	3	2	0	1	0	0	0	2	4
診察せず・取下げ他	1	0	1	0	1	0	0	0	2	4
措置診察件数	2	3	1	0	0	0	0	0	0	0
措置入院件数	2	3	1	0	0	0	0	0	0	0
非該当件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23条通報	97	94	99	127	134	133	121	135	131	120
診察せず・取下げ他	32	37	32	49	59	79	80	90	97	90
措置診察件数	65	57	67	78	75	54	41	45	34	30
措置入院件数	57	51	57	73	73	50	39	43	33	27
非該当件数	8	6	10	5	2	4	2	2	1	3
24条通報	24	41	30	31	31	43	36	41	26	22
診察せず・取下げ他	12	17	12	12	2	7	12	13	12	6
措置診察件数	12	24	18	19	29	36	24	28	14	16
措置入院件数	9	21	11	14	24	34	19	28	14	13
非該当件数	3	3	7	5	5	2	5	0	0	3
25条の2、26条通報	70	59	68	88	125	118	145	197	174	197
診察せず・取下げ他	68	58	68	87	124	116	143	196	174	197
措置診察件数	2	1	0	1	1	2	2	1	0	0
措置入院件数	2	1	0	1	1	2	2	1	0	0
非該当件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緊急措置診察件数	194	150	138	135	110	122	104	98	80	105
緊急措置入院件数	159	121	125	114	93	110	90	84	69	89
本鑑定実施せず他	19	5	14	17	6	11	7	3	1	8
本鑑定件数	140	116	111	97	87	99	83	81	68	80
該当件数	100	102	91	81	75	87	75	74	56	72
非該当件数	40	14	20	16	12	12	8	7	12	8
非該当件数	35	29	13	21	16	12	14	13	11	16

同年度において「緊急措置入院件数 = 本鑑定実施せず + 本鑑定件数」となっていない年度があるのはその年度末の緊急措置診察の本鑑定を翌年度に行っているため。

大阪府下の精神科病床を有する病院（平成28年6月末日現在） 病院・指定・病床数同じ

	病 院 数	指定病院数	精神科病床
大 阪 市 内	7病院	3病院	235床
堺 市 内	6病院	4病院	2,728床
大 阪 府 下 (大阪市・堺市を除く)	50病院	38病院	15,583床
合 計	63病院	45病院	18,546床

大阪市内の精神科病床を有する病院（平成28年6月末日現在）

		病 院 名	精神科病床
大阪市内	指定病院	大阪市立総合医療センター	55床
		大阪市立大学医学部附属病院	38床
		ほくとクリニック病院	50床
	そ の 他	大阪府立急性期・総合医療センター	34床
		大阪医療センター	4床
		北野病院	12床
		大阪赤十字病院	42床
合 計			235床

4 精神障がい者保健福祉手帳交付状況（過去10年間）

（人）

年度		19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
等 級	1 級	2,134	2,215	2,376	2,547	2,668	2,722	2,733	2,672	2,721	2,727
	2 級	8,606	9,659	10,775	11,961	13,354	14,313	15,016	15,772	16,964	17,776
	3 級	3,029	3,512	4,200	4,814	5,337	6,361	7,737	9,287	10,056	11,134
交付数 計		13,769	15,386	17,351	19,322	21,359	23,396	25,486	27,731	29,741	31,637

5 精神障がい者保健福祉手帳所持者数

(28年度末現在) (人)

区	等級	1級	2級	3級	計
北		57	460	394	911
都島		91	572	361	1,024
福島		40	216	147	403
此花		85	361	265	711
中央		39	337	240	616
西		52	311	227	590
港		77	520	362	959
大正		79	493	278	850
天王寺		54	292	227	573
浪速		77	446	348	871
西淀川		72	424	311	807
淀川		163	1,034	528	1,725
東淀川		156	1,434	801	2,391
東成		67	546	297	910
生野		168	932	532	1,632
旭		129	669	413	1,211
城東		144	1,017	530	1,691
鶴見		93	634	293	1,020
阿倍野		85	647	346	1,078
住之江		123	798	535	1,456
住吉		207	1,276	819	2,302
東住吉		164	1,127	674	1,965
平野		295	1,815	1,082	3,192
西成		210	1,415	1,124	2,749
合計		2,727	17,776	11,134	31,637

7 自立支援医療費(精神通院)受給者数

(28年度末現在)(人)

区	受給者数
北	1,935
都島	1,882
福島	921
此花	1,321
中央	1,327
西	1,180
港	1,653
大正	1,574
天王寺	1,205
浪速	1,638
西淀川	1,602
淀川	3,645
東淀川	4,738
東成	1,713
生野	3,015
旭	2,201
城東	3,269
鶴見	1,966
阿倍野	1,899
住之江	2,512
住吉	4,119
東住吉	3,163
平野	5,045
西成	3,974
合計	57,497

6 自立支援医療費(精神通院)受給者数状況(過去10年間)

(人)

年度	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
受給者数	32,126	35,056	37,842	41,313	43,878	46,918	49,419	52,086	54,446	57,497

8 保健福祉センターにおける相談指導の状況

(平成28年度実績)(人)

	面接相談		電話相談	訪問指導		精神保健福祉 相談 合計 (+ +)
	実人員	延人員	延人員	実人員	延人員	
北	296	1163	1,401	44	134	2698
都 島	129	429	779	73	203	1411
福 島	109	395	214	35	78	687
此 花	163	741	933	74	154	1828
中 央	119	506	473	42	104	1083
西	173	744	781	49	141	1666
港	200	799	819	76	189	1807
大 正	308	1,615	980	44	160	2755
天王寺	125	454	636	51	111	1201
浪 速	143	562	609	54	247	1418
西淀川	165	498	472	18	87	1057
淀 川	201	555	983	72	140	1678
東淀川	337	1061	1202	139	345	2608
東 成	145	424	584	67	334	1342
生 野	210	916	442	71	154	1512
旭	91	304	265	34	116	685
城 東	179	526	784	47	100	1410
鶴 見	132	525	575	35	191	1291
阿倍野	204	964	631	63	132	1727
住之江	169	371	571	74	149	1091
住吉	198	844	1,897	112	289	3030
東住吉	426	1,403	1,103	136	263	2769
平 野	278	1,694	1,901	113	321	3916
西 成	428	1,997	2,023	95	276	4296
西成分館	4	12		0	0	12
合計	4,932	19,502	21,058	1,618	4,418	44978

9 保健福祉センターにおける一般クリニックの状況

(平成28年度実績)

	一般クリニック		
	回数 (回)	実人員 (人)	延人員 (人)
北	27	56	69
都 島	29	43	68
福 島	34	57	91
此 花	21	38	57
中 央	22	39	51
西	23	57	64
港	26	40	56
大 正	32	51	87
天 王 寺	23	40	55
浪 速	23	42	55
西 淀 川	22	53	56
淀 川	37	66	84
東 淀 川	43	88	130
東 成	34	53	69
生 野	23	65	75
旭	24	20	53
城 東	35	68	84
鶴 見	24	40	56
阿 倍 野	34	51	84
住 之 江	23	62	75
住 吉	32	57	85
東 住 吉	43	100	150
平 野	30	76	112
西 成	42	54	113
合 計	706	1316	1879

10 保健福祉センターにおける日常生活向上教室・生活技能訓練教室

(平成28年度実績)

	日常生活向上教室					生活技能訓練教室				
	回数	実人員		延人員		回数	実人員		延人員	
		男	女	男	女		男	女	男	女
北	12	9	1	45	1					
都島	12	9	4	51	31	12	11	7	60	40
福島	12	1	3	12	14	12	6	6	58	36
此花	12	5	5	31	30					
中央	12	5	5	35	20	12	5	4	45	13
西	12	4	1	25	4					
港	12	5	8	43	60					
大正	12	5	2	42	14					
天王寺	12	4	3	22	22	12	7	7	54	49
浪速	12	7	7	46	42					
西淀川	12	3	2	28	12					
淀川	12	5	5	33	32	12	9	10	63	75
東淀川	12	8	9	61	62					
東成	12	3	5	26	27					
生野	12	10	7	75	29					
旭	12	3	2	24	17					
城東	12	3	4	32	21					
鶴見	12	4	6	25	51					
阿倍野	12	8	2	53	22					
住之江	12	7	1	30	3					
住吉	10	3	3	24	4	12	5	4	34	11
東住吉	12	7	3	22	14	11	10	7	66	39
平野	12	2	7	24	42					
西成	12	4	1	37	10					
合計	286	124	96	846	584	83	53	45	380	263

大阪市こころの健康センター所報
(平成28年度)

発行 大阪市こころの健康センター
〒534-0027
大阪市都島区中野町5丁目15番21号
都島センタービル3階
電話 06-6922-8520